



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 東和薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 逸郎 (TEL) 06(6900)9101  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川 義明 配当支払開始予定日 -  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	10,938	15.6	1,815	△8.8	1,732	3.8	1,082	7.9
22年3月期第1四半期	9,461	13.5	1,990	83.4	1,669	35.6	1,003	16.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	63	07	—	—
22年3月期第1四半期	58	43	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	58,935	42,423	42,423	72.0	2,471	19		
22年3月期	60,504	41,945	41,945	69.3	2,443	36		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 42,423百万円 22年3月期 41,945百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	—		22	50	—	32	50
23年3月期	—		—		—	—	—
23年3月期(予想)	—		30	00	—	30	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	20,800	9.1	3,750	0.0	3,700	16.4	2,200	15.2	128	15
通期	43,200	10.6	8,900	14.9	8,800	18.4	5,300	15.2	308	73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	17,172,000株	22年3月期	17,172,000株
23年3月期1Q	4,859株	22年3月期	4,859株
23年3月期1Q	17,167,141株	22年3月期1Q	17,167,380株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつあります。雇用・所得環境は引き続き厳しい状況にあるものの、その程度は幾分和らいでおり、そうしたもとの、個人消費は持ち直し基調を続けています。先行きについては、景気は緩やかに回復していくと考えられます。

医療用医薬品業界では、平成22年4月の診療報酬改定で、薬価改定が行われるとともに、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の導入や、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直しなどが実施されました。この影響により、保険薬局市場に大きな変化がありました。すなわち、後発医薬品の調剤割合の増加を図る保険薬局が多く、これまで売上がほぼ横ばい、ないしは低下傾向であった当社従来品も含め、幅広い製品で当社製品の売上が増加しました。また、当社製品の末端納入先としては、これまでは診療所が保険薬局を上回っておりましたが、当第1四半期においては、これが逆転し、保険薬局が診療所を上回りました。当社といたしましては、特に保険薬局市場での安定供給体制の拡充を図るため、営業所の新設や、配送要員の増員などに取り組んでいるところであります。

一方、当社独自のRACTAB技術を用いたアムロジピンOD錠「トーワ」やランソプラゾールOD錠「トーワ」については、医療機関における当社技術の評価が定着しつつあり、売上は順調に推移しました。

この結果、当第1四半期の当社グループの売上高は、10,938百万円（前年同期比15.6%増）となりました。一方、前年同期の販売費及び一般管理費が一時的に減少した反動により、営業利益は1,815百万円（前年同期比8.8%減）となりました。経常利益は1,732百万円（前年同期比3.8%増）、四半期純利益は、1,082百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、58,935百万円となり、前連結会計年度末比1,569百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少であります。

負債につきましては、16,512百万円となり、前連結会計年度末比2,046百万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等の減少であります。

純資産につきましては、42,423百万円となり、前連結会計年度末比477百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加であります。

その結果、自己資本比率は72.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,965百万円となり、前連結会計年度末比1,976百万円の減少（前年同期比1,432百万円の増加）となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は425百万円の減少（前第1四半期連結累計期間は724百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,710百万円等であり、主な減少要因は法人税等の支払額1,778百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1,016百万円の減少（前年同期比216百万円の増加）となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻による収入3,800百万円等であり、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出2,741百万円、定期預金の預入による支出2,000百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は537百万円の減少（前年同期比150百万円の減少）となりました。主な減少要因は、配当金の支払額535百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上、利益とも計画を若干上回って進捗しておりますが、平成22年5月14日に公表しました平成23年3月期の連結業績予想（第2四半期連結累計期間及び通期）に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

2. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益に対する影響額は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は18百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,165	10,941
受取手形及び売掛金	15,163	14,726
商品及び製品	6,346	6,556
仕掛品	1,975	2,008
原材料及び貯蔵品	2,945	2,276
その他	1,681	1,518
貸倒引当金	△425	△343
流動資産合計	34,852	37,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,180	7,277
機械装置及び運搬具(純額)	2,021	2,039
土地	6,676	6,676
建設仮勘定	4,593	3,261
その他(純額)	532	447
有形固定資産合計	21,003	19,702
無形固定資産	395	369
投資その他の資産		
投資有価証券	1,917	2,014
その他	831	797
貸倒引当金	△65	△63
投資その他の資産合計	2,684	2,748
固定資産合計	24,083	22,820
資産合計	58,935	60,504

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,568	5,557
未払法人税等	657	1,887
引当金	18	71
その他	5,295	6,043
流動負債合計	11,539	13,560
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
引当金	219	236
その他	753	762
固定負債合計	4,973	4,998
負債合計	16,512	18,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	29,868	29,343
自己株式	△10	△10
株主資本合計	42,445	41,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22	24
評価・換算差額等合計	△22	24
純資産合計	42,423	41,945
負債純資産合計	58,935	60,504

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	9,461	10,938
売上原価	4,691	5,447
売上総利益	4,770	5,490
販売費及び一般管理費	2,780	3,675
営業利益	1,990	1,815
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	1	1
有価証券売却益	—	1
技術指導料	16	20
為替差益	—	15
その他	24	19
営業外収益合計	47	62
営業外費用		
支払利息	2	14
有価証券償還損	1	—
有価証券評価損	128	—
スワップ評価損	235	131
その他	0	0
営業外費用合計	368	145
経常利益	1,669	1,732
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	2
投資有価証券受贈益	—	14
特別利益合計	1	17
特別損失		
固定資産処分損	1	0
投資有価証券評価損	—	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17
特別損失合計	1	39
税金等調整前四半期純利益	1,668	1,710
法人税等	665	627
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,082
四半期純利益	1,003	1,082



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,668	1,710
減価償却費	403	417
貸倒引当金の増減額(△は減少)	71	83
その他の引当金の増減額(△は減少)	13	△70
固定資産処分損益(△は益)	1	0
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息	2	14
スワップ評価損益(△は益)	235	131
有価証券評価損益(△は益)	128	16
有価証券売却損益(△は益)	—	△1
有価証券償還損益(△は益)	1	—
売上債権の増減額(△は増加)	116	△437
たな卸資産の増減額(△は増加)	△126	△425
仕入債務の増減額(△は減少)	79	10
その他	△291	△81
小計	2,297	1,360
利息及び配当金の受取額	16	6
利息の支払額	△2	△14
法人税等の支払額	△1,586	△1,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	△425
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△2,000
定期預金の払戻による収入	—	3,800
有形固定資産の取得による支出	△1,266	△2,741
投資有価証券の売却による収入	97	16
貸付金の回収による収入	2	—
その他	△66	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,233	△1,016
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△386	△535
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386	△537
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△892	△1,976
現金及び現金同等物の期首残高	3,425	5,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,533	3,965

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。